

第1回 甲賀市小中学校教育のあり方審議会 議事概要

1. 日 時：令和3年7月30日(金) 15時00分～16時30分

2. 場 所：甲賀市役所3階 会議室301

3. 出席者：〔委員8名〕(敬称略)

狩野秀樹、伊藤孝子、中西三夫、池田静香、前川志津子、青木秀樹、
八木正隆、中野和彦

※欠席：山田昭、岡谷ふさ子

〔事務局(市)〕

西村教育長 山本教育部長 松本次長 乾次長
教育総務課 谷課長 田中室長補佐

〔傍聴者〕

2名

4. 内容

開会

黙祷

市民憲章唱和

1. 委嘱状交付

2. あいさつ(事務局)

改めまして、皆様、こんにちは。教育長の西村でございます。

7月も明日で終わり、1年のうちで最も暑い季節を迎えました。庁舎周辺の木立からも、ひっきりなしに蝉時雨が聞こえ、連日厳しい暑さが続いております。

日頃はそれぞれのお立場から、本市の教育行政に対しまして、ご支援とご指導を賜り、誠にありがとうございます。

「甲賀市小中学校教育のあり方審議会」第1回の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

只今は皆様方に、本審議会委員の委嘱をさせていただきました。過日、審議会委員をお願いいたしましたところ、お忙しい中、ご事情がおありにもかかわらず、ご快諾を賜り、改めてお礼を申し上げます。また、遠方より来ていただく方もあり、心苦しく思っています。

さて、本市教育委員会におきましては、次代を担う子どもたちに、より良い保育・教育環境を提供することをめざして、平成27年3月に「甲賀市幼保・小中学校再編計画」を策定いたしました。その後、各地域において再編協議会を設置いただき、教育委員会より説明を行いながら、協議を重ねていただき、すべての地域より報告書の提出をいただいたところです。

「子どもたちにとってのより良い教育環境」を第一義として協議を進めていただきまし

たが、報告書では、「より良い教育環境」とは、「一定の人数からなる集団で切磋琢磨しながら生活や学習を行い、多くの先生や友だちとの関わりの中で将来必要となる人間関係を構築する力が身に付けられるような環境」なのか、それとも「極めて少人数の集団で先生や友達との関係が家族のように近く、毎日個別指導のような授業が行われるような環境」なのか、このように「より良い教育環境」を巡っての葛藤を含んだ内容となっています。

このことから、「子どもたちにとってのより良い教育環境」についての議論を深めるために、審議会を設置し、本市における教育課題やさまざまな教育施策を見据えた上での協議をお願いし、これからの本市における甲賀市小中学校教育のあり方について提言をいただくことといたしました。

小・中学校教育や就学前教育のご経験があり現在大学で教鞭をとっておられる方、教育行政のトップとして活躍された方、大規模校・極小規模校の両方の校長を経験された方、校長として特別支援教育を牽引していただいた方、他の市町で校長のご経験もあり行政としても学校再編に携わっていただいた方、さらに地域団体の代表の方や子育て真っ最中のPTA・保護者代表の方、このような委員の皆様方から本審議会において、ご意見をいただけることを大変うれしく思います。

一方、今年1月には、中央教育審議会答申として『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」が出され、各論のひとつとして、「人口動態等を踏まえた学校経営や学校施設の在り方について」が示されています。その基本的な考え方として、「少子高齢化や人口減少等により子供たちを取り巻く状況が変化しても、持続的で魅力ある学校教育が実施できるよう、学校配置や施設の維持管理、学校間の連携の在り方についての検討が必要」とされています。このことは「子どもたちにとってのより良い教育環境」について議論を深め、それに基づく施策を進めることは、本市のみならず、全国的な課題であることを示しています。

また、「甲賀市教育大綱」の冒頭には、「たくましい心身と郷土への誇りをもち、未来を切り拓く人を育てる」ことが教育方針として掲げられています。

この教育方針を実現するためにも、本審議会において「子どもたちにとってのより良い教育環境について」ご議論を深めていただき、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方には、本審議会の委員に就任いただいたことに改めて感謝を申し上げ、開会とお礼の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくようお願い申し上げます。

3. 自己紹介

4. 甲賀市小中学校教育のあり方審議会設置規則について

- ・事務局より説明（事務局）

5. 会長・副会長の選任について

- ・会長：狩野秀樹 様 副会長：伊藤孝子 様

6. 会議の公開について

- ・事務局より説明（事務局）

7. 審議書の交付

会長

- ・未来を見据えて甲賀市の子どもたち、そして、甲賀市にお住まいの皆さんがこの21世紀の後半に向けて、よりよい子どもたちの学習環境づくりについて委員の皆様のお知恵をいただき、協力し合ってよい提言ができますように励んでまいりたい。

8. 甲賀市小中学校を取り巻く現状と課題について

- ・事務局より説明（事務局）

（質疑・意見）

委員

- ・19地域で再編検討協議会の協議会の運営の仕方、メンバー構成について教えてほしい。

事務局

- ・再編検討協議会は、委員長、副委員長、委員の15名以内で組織。
- ・メンバー構成は、地域によって様々で、自治振興会の会長、区長会会長、小学校保護者代表、未就学児の保護者代表、民生児童委員の代表、同窓会の代表。委員の男女比は、男女半数ずつや男性が多い協議会もあった。

委員

- ・甲賀市の場合、再編検討協議会は、地域代表や各団体の代表の方で構成され、設置されている。
- ・私に関わった市町では、幼稚園を含めた保護者会での説明会も同時進行で進めた。連合自治会への説明も行ってきた。
- ・ちょっと形が違っていると確認をさせていただいた。

事務局

- ・保護者会への説明は行っていない。学区全体を対象に説明会は行った。

委員

- ・甲南第三小学校の再編検討協議会では、構成員を考え、男女比も半分半分、未就学児の父親、母親が4名、小学校の保護者が4名、民生委員や区長会、自治振興会の者を4名で審議をした。その結果、学校再編を承認する結果になった。
- ・他地区の状況を聞くと、この協議会の構成員によって協議結果が変わってきているように思った。

9. 今後の予定について

- ・事務局より説明（事務局・事務局）

（質疑・意見）

委員

- ・学校訪問はいいことだが、一番小さな学校を選んで、大規模校で一番大きな学校を選んでいるのは、ちょっと極端すぎるのではないか。

事務局

- ・多羅尾小学校は、複式学級対象の学校、個別的な指導を行っている学校。特認校制度、オペレッタの取組みをされている。
- ・貴生川小学校は、教科担任制を先行して導入し、課題の抽出を行っている。

事務局

- ・多羅尾小学校は、家庭的で一人一人に向き合う教育がどういうものなのか見ていただきたい。
- ・貴生川小学校は、大規模校の良さ、例えば教科担任制、大規模校での可能性などを見ていただきたい。
- ・どちらが子どもたちにとって良いのかというところを考えていただきたい。
- ・他の学校も見る必要がある場合は、検討させていただく。
- ・学校訪問は、多羅尾小学校 9/28（火）、貴生川小学校 10/22（金）。
- ・資料 5 が、当日の出欠確認になっているので、後日、FAX かメールで返信いただきたい。

委員

- ・学校訪問の 13:30 は、学校着が 13:30 か。

事務局

- ・学校着が 13:30。車で直接行かれる方の学校到着時間。
- ・こちらで公用車をご用意させていただくので、公用車に乗っていただく場合は、市役所に集合になる。

事務局

- ・市役所から公用車に乗っていただく場合の集合時間は、12:30 にしたいと考えている。
- ・今日、欠席の方がおられるので、集合時間等決まりしだい、委員の皆様にも現地へ直接行く場合や公用車の利用の場合の内容を記入して通知させていただく。

委員

- ・学校現場から教育委員会へ来ておられる教員はいらっしゃるか教えていただきたい。
- ・私が関わった市町でも私が担当課に入る時に教育総務課の中に学校適正配置の部署を作るか、取り出して室を作るかという話になった。

- ・学校再編について、課長と話をした時に、行政で進めるなら粛々と進めていくという言葉を投げかけられた。
- ・私がいた担当室は、学校教育課から出向し、担当の私が退職校長、主幹は学校現場から教育委員会へ出向された先生、主査の女性の4人でスタートした。
- ・心情的に学校適正配置をどうしていくかというところから入って行った。
- ・私は、体育館で数百人の保護者を前にして学校適正配置の説明を行ってきた経験がある。
- ・市内の校長先生方に学校適正配置について、どれぐらいの説明をして来られたのかその雰囲気をお聞きしたい。
- ・私が関わった市町での前任の教育長ですが、校長が新しく赴任して来た時に「あなた、3年間で方向を出しなさい」という話をされていた。
- ・校長は、そういった使命、地域、子どもたち、地域の存続も含め総合的な立場だった。
- ・私も最終的には校長という立場で保護者の前で学校再編についてどうなんだということ突き付けられたことがあった。
- ・甲賀市は、行政でこれだけ頑張っておられ、地域の協議会も頑張っておられる。
- ・学校現場を預かる校長としての使命感、子どもたちのより良い教育をどう考えていくのか、その辺のことをどうされているのか雰囲気だけでもお聞きしたい。
- ・私がここにいる役目もそれかと思う。
- ・平成27年度に甲賀市さんが10年プランを立てられた時に、担当の方と電話で「いいプランを作られましたね、大義名分的なものはできましたね。私の市ではプランが出来なくてワンポイントでやっているんですよ。」という話をしていた。
- ・甲賀市さんからは、時置かず「なかなか厳しい」という話をいただいた。
- ・地域の方が少人数だからいい、規模が大きければコミュニケーションがとれるという結論は、地域に下ろす前からある程度予測できていた話ではないかと思う。
- ・地域の核がなくなる、地域が衰退する。それを何か想定して、そこから始まるというスタンスで校長として動いていたように思う。

事務局

- ・本日の出席者では〇〇が教員。再編の考え方について、校長先生をはじめとする学校現場の方々と定期的に協議するような場は、現状持っていない。教育総務課内の担当室が中心となって進めている。
- ・再編検討協議会を各地域で開催してきたが、地域の方々から、学校の考え方はどうなのか、そこで勤める先生の考えはどうかというご質問もいただいた。
- ・当時我々は、学校の先生は勤められている学校で、大規模であれ小規模であれデメリットなりメリットをそれぞれ踏まえた中で最善の教育をしようとして努力されている。市が再編計画を打ち出しているからと言って、学校の先生がその通りだ、この学校は再編の対象で統合されればいいと言える立場ではないのではないかと教育委員会内で話した記憶がある。
- ・これまでの協議の中では、先生に全面的に再編検討協議会の協議に加わっていただ

いたという経過はない。

- ・ご指摘いただいた地域の意見の予測の部分は、確かにコミュニティの衰退とか少子化に拍車がかかっていく、不安の声が上がることは予測していたが、まずは、再編計画の考えに基づいて粛々と説明を行い、地域の意見を聞いた。
- ・ありとあらゆる方面からの声、反響を予測してそれに対する地域振興策を腹案に持って行って、交渉に行くとか、そういうことではなくて、あくまで再編計画一本で説明をさせていただいた。そのことが、報告書に表れている。

事務局

- ・校長会の場所では、適宜、再編検討協議会の結果なり、現状については、報告をさせていただいた。
- ・協議会の中で学校の現状について学校から出てきてもらって、学校の現状について状況を説明してほしいところがいくつかあったので校長がその協議会に伺い、子どもたちの現状や課題、良さなどについて説明させていただいた。
- ・現状をしっかりと伝えるという立場で話をしたと聞いている。

委員

- ・私は教育委員会の指示のみで学校再編を進めてはいない。
- ・学校運営協議会の委員の中で児童数が減っていく中でどうしようということや地域アンケートをしてみようという話になり、その中で存続とかどうするのかということが地域の方から出た。それを PTA に返して、PTA の中でまたアンケートをする。
- ・最初から統合とかいう話ではなく、どうするんだという話で話を進めて行っていた矢先に、数か月置かずに議会で議員さんから学校統合について教育長の方針をたずねる一件が出た。そういう中で学校再編を進めていったということです。
- ・私はそういう中に置かれた立場には違いなく、一緒に考えさせていただいて、私は校長として最後の最後に発言をして、保護者の方の意見を出していただくということで進めて行った。

事務局

- ・学校訪問では、学校訪問へ行った先の校長先生にお話を伺う時間を設ける。
- ・事前に学校に学校の様子などで伺いたい内容があれば、資料5の用紙にご記入をいただいて事前にご連絡いただければ、学校の方に伝えさせていただく。
- ・出欠確認と一緒に送付いただくようお願いする。

事務局

- ・これから委員の皆様には、子どもたちにとってより良い教育環境についてご審議いただくことになる。
- ・子どもたちのために委員の皆様と教育委員会事務局が一体となり、より良い審議会になればと思っている。

閉会

5. 次回（第2回）審議会

日時：令和3年11月2日（火） 15時00分から16時30分

場所：甲賀市役所3階 会議室301